

令和7年度 第5回 日本診療放射線技師連盟理事会 議事録

日時：令和7年7月23日(水) 18:00~19:30

会場：Web 開催

参加者 理事長：木暮陽介

副理事長：江田哲男、角田喜彦、中上康次、丹羽政美

理事：上田克彦、江端清和、菊池克彦、木口雅夫、児玉直樹、佐藤晴美、杣澤路子
富田博信、中村泰彦、西小野昭人、長谷川雅一、藤井雅代、山本英雄
柳澤直樹

監事：田中功、松原馨

陪席者：畦元将吾、芳士戸治義、各地域連盟支部長

司会進行：江田哲男

書記：谷本恵子

(敬称略)

業務報告・周知事項（報告期間：前回理事会～本日）

1. 畦元先生挨拶

畦元先生より挨拶があった。

2. 上田理事挨拶

上田理事より挨拶があった。

3. 木暮理事長挨拶

木暮理事長より挨拶があった。

4. 中上副理事長挨拶

中上副理事長より挨拶があった。

5. 連名活動報告 木暮理事長

6月16日(月) 第4回 JFRT 理事会開催

6月19日(木) JFRT 主催 第13回定例勉強会開催

6月20日(金) あぜもと候補事務所開き

6月23日(月) 参議院選挙公約に関する政策懇談会に出席

6月24日(火) 福井県からあぜもとしょうごを応援する会

6月25日(水) あぜもとくんを励ます会 in 静岡

6月26日(木) あぜもとくんを励ます会 in 熊本
6月27日(金) 全力であぜもと先生を応援する夜 宮崎
6月29日(日) あぜもと将吾氏を励ます会 愛知
6月30日(月) JFRT主催 第14回定例勉強会開催
7月1日(火) あぜもと将吾を囲む会 東京都多摩地域
7月2日(水) あぜもとを励ます会(滋賀県・京都府 web)
7月3日(木) あぜもとしょうご出陣式
7月5日(土) - 6日(日)
2025年関東甲信越診療放射線技師学術大会にて連盟ブース設置
7月6日(日) あぜもと決起大会 in 神奈川
7月7日(月) あぜもと決起大会(神戸)
7月8日(火) あぜもと決起集会(岡山県 web)
7月9日(水) あぜもと決起集会(徳島県・愛媛県・高知県 web)
7月9日(水) あぜもと決起集会(石川県 web)
7月9日(水) あぜもと決起集会(島根県・鳥取県 web)
7月10日(木) あぜもと決起大会 in 東京
7月14日(月) あぜもと決起集会(催関甲信ブロック)
7月14日(月) JFRT主催 第15回定例勉強会開催
7月15日(火) あぜもと決起集会(沖縄県 web)
7月15日(火) JFRT主催 第16回定例勉強会開催
7月16日(水) あぜもと決起集会(中部圏ブロック)
7月17日(木) あぜもと決起集会(九州ブロック)
7月19日(土) あぜもとしょうごマイク納め

※(公社)東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼
※HP作業: グーグルカレンダー予定追加、連盟ニュース・定例勉強会 アップ

6. 会計報告 木暮理事長

連盟会員数は709名(2025年7月22日時点)
2025年度の年会費納入状況 216件、寄付21件
2024年度の年会費納入状況 472件、寄付15件
2023年度の年会費納入状況 169件、寄付21件
連盟残金: 536,311円(2025年7月22日時点)

7. 連盟会員システム報告 角田副理事長

全会員数は709名
利用者数が691名、退会者数18名

メール未通達 22 名（現在調査中）

寄付について、システムからの寄付が 11 名おり、全部で 11 万の寄付をいただいている。

8. その他

－芳士戸前理事長

芳士戸前理事長から今回の選挙についての話があった。

－上田理事

木暮理事長の理事長辞任との話が出たが、今後の連盟としての方向性を皆さんと相談しながら進めていくのが良いと思っている。

－畦元先生

国会には放射線技師議連、ラジエーション議連があるが、一つにしようとして終わっていた。これは続けた方がいいと思う。田村先生が会長をやってくださるということで話はついていた。事務局長は田村先生とまた相談することになると思うが、そのあたりの根回しや、私が技師会のためにできることはさせてもらいたい。議連だけはやっぱり残さないと、診療放射線技師が代議士と話す機会がなくなってしまうので、そこだけは残そうと思っている。若い診療放射線技師の方々のためにできる限りのことはしていきたいと思う。今後ともよろしくお願いしたい。

審議事項

議題 1. 定例勉強会継続について 木暮理事長

定例勉強会の継続についてだが、事前に配布した資料を供覧させていただく。

今回の参議院選挙でのあぜもと先生への投票数と連盟の各都道府県の会員数との関係である。概ね投票数が多かった都道府県においては連盟会員の方もある程度充足されている。連盟会員は約 700 名なので、この今の人数から会員数を増さない限り、投票数の方には結びつかないという感じがした。

令和 4 年分の収支報告書、総務省に提出している各連盟の収入と支出をまとめてみたところ、当連盟においては収入支出額が約 200 万円であるのに対し、日本医師連盟は約 22 億、看護連盟は約 16 億、薬剤師連盟は約 15 億、柔道整復師は約 6 億、そして歯科技工士は約 1 億、理学療法は約 6000 万、歯科衛生士は約 5000 万、臨床検査技師約 2000 万、臨床工学士約 1000 万である。この資金状況では、やはり組織力としてなかなか力を発揮できていなかった。他団体の収支報告書は見ていたが、改めて調べてみるといかに当連盟に活動力がないことがわかった。

今回、提案させていただきたいのは、まずは定例勉強会を継続して月 1 回開催、技術講演 30 分と残りの 20 分～30 分で政治の大切さ、連盟の活動、入会促進という流れで話をしたい。これらをセットで定例勉強会の継続をしたいと思っている。

さらに、可能であれば今まで開催した定例勉強会の動画をオンデマンド配信できるようにし、当

連盟入会の特典としたい。

－賛成多数で承認された。

審議 2. 推薦状について

奈良県山添村長選挙において、診療放射線技師の北中候補を奈良県連盟支部長としてご推薦できないかということでご相談を受け、今回、日本診療放射線技師連盟理事長と奈良県支部長連名で推薦状を出せないかという提案である。

北中候補だが、経歴は配布資料の通りである。MBA の方も取得されており病院勤務を経て、フィリップスに入職、現在、株式会社カートの代表取締役社長といったご経歴である。可能であれば同じ診療放射線技師として北中候補を応援したいと思っているので審議いただきたい。

－角田副理事長

北中候補は存じており、推薦することに対して私は異論ない。

－中上副理事長

私は診療放射線技師というだけで応援したい。日本診療放射線技師連盟と奈良県診療放射線技師連盟別で推薦状を作成してもよいと思う。

－賛成多数で承認された。

今後の予定

第 6 回理事会 11 月 10 日（月） 18：30～

第 7 回理事会 12 月 15 日（月） 18：30～

総括 丹羽副理事長

令和 7 年度第 5 回日本診療放射線技師連盟理事会総括を述べられた。

以上